



穂積 志 市長

穂積市政3期目の公約8項目

秋田市総合計画の「ともにつくりともに生きる人・まち・くらし」の基本理念のもと、将来を見据えたまちづくりを実現するために掲げた穂積市政3期目の公約は次の8項目。
下記にはその中から、若者の雇用や子育て支援、にぎわい創出など、喫緊の課題へ対応するおもなものをピックアップしました。

公約8項目

- ① 産業の育成・支援と雇用の創出
- ② 子どもを生き育てやすい環境づくり
- ③ 高齢者に優しいエイジフレンドリーシティの実現
- ④ 芸術・文化・スポーツによるまちづくり
- ⑤ 地球温暖化対策の推進
- ⑥ 安全・安心なまちづくり
- ⑦ 市民協働と人づくり
- ⑧ 行財政改革・市民サービスの向上



将来を見据えたまちづくりのために

◆ 非正規から正社員化のさらなる促進

非正規雇用者を正規雇用へ、1人あたり月額20万円を3年間補助する「アンダー35正社員化促進事業」の拡大など、非正規雇用者の正社員化へのさらなる促進を図ります。



◆ 第2子に加え、第1子の保育料も無償化



一定の所得制限のもと、第2子以降について実施している保育料無償化の対象を拡大し、第1子の保育料を無償化する制度をつくりまします。

◆ 高齢者コインバスの対象を68歳から65歳に引き下げ

100円で市内路線バスを利用できる「高齢者コインバス事業」の対象年齢を、現在の満68歳から65歳へ引き下げ、高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進します。



◆ 泉・外旭川新駅(仮称)の設置

早期開業をめざし、「泉・外旭川新駅(仮称)」の設置に関する設計、工事などを進めます。

◆ 県・市連携文化施設、旧県立美術館などを活用した芸術文化ゾーンの整備



基本設計のプロポーザルで提案された県・市連携文化施設の完成イメージ図

現在の県民会館所在地への県・市連携文化施設の整備と、それを前提とした旧県立美術館の活用により、周辺の既存文化施設などとの連携を図り、一帯を「芸術文化ゾーン」として整備します。
県・市連携文化施設は、平成33年度に開館予定です。

◆ 修学旅行誘致の拡大と秋田港への大型クルーズ船の誘致

交流人口の拡大に向け、首都圏などからの修学旅行誘致の拡大を図るとともに、秋田港への大型クルーズ船の誘致を推進します。



公約について詳しくは、企画調整課ホームページでご覧いただけます。
☎(00800)5462
<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/promise/>

エコちゃんからの
お・ね・が・い♪



7月から

ガス缶
スプレー缶
穴を開けずに
緑の回収箱へ



ガス・スプレー缶をゴミ集積所に出す時は、穴を開けてから回収箱に入れるようお願いしてきましたが、不適切な方法で穴を開けると火災などの事故につながる恐れがあることから、7月から次のようにしてください。



ガス・スプレー缶は、完全に使い切ってから穴を開けずに、空きびん、空き缶の回収日に緑色の回収箱に入れてください。

危険ですので、空き缶と一緒に袋に入れないでください

ガス・スプレー缶の例

卓上コンロ用のカセットボンベ、キャン
プ用品のガスカートリッジ、殺虫剤、潤滑
剤、整髪剤、消臭剤、制汗剤 など

問▼環境都市推進課☎(0800)507008



市政トピックス

新しい教育長に
佐藤孝哉氏



秋田市教育長の越後俊彦氏の任期満了に伴い、5月13日から新しい教育長に佐藤孝哉氏が就任しました。

佐藤氏は昭和57年、新潟大学教育学部卒業。岩見三内小学校校長、教育委員会教育次長などを歴任しました。

■5月13日付け秋田市教育委員会人事異動

〔次長級〕

教育次長兼学校教育課長▼嶋崎公人



東京事務所に
移住専門の相談員

移住相談センター

☎03-3234-6871

東京都千代田区平河町二丁目4

1 日本都市センター会館11階

相談日時▼平日の午前9時～午

後5時(来所希望のかたは、事前

にご連絡をお願いします)

秋田市東京事務所では、秋田市への移住促進事業の一環として、専門相談員による相談の受け付けを始めました。

秋田市に住みたいかたは、帰りたいけど現状がわからず迷っているかたは、社会人、学生を問わずご支援いたします。首都圏にお住まいのご家族や知人で、秋田市への移住をお考えのかたにお知らせください。